

2022事業年度

宇部市文化創造財団

事業報告書

## I 事業総括

2022年は、2020年から続く「Withコロナ」の時代にあり、そのためコロナの爆発的感染が突然起こることで予定していたコンサート・事業が急きょ中止または延期に追い込まれる事態がいつ起こってもおかしくない状態の中で、文化事業の開催にあたっては、感染予防や接触制限・声出し制限などの措置を徹底的に行いながら、その一方で中止や延期も想定しながら準備を進めざるを得ない状況でした。

そのような新型コロナウイルスの終息がまだまだ見えない中にありながら、だからこそ文化・芸術が持つ「癒しの力」が人々の心に必要と考え、「Withコロナ」の中でも出来る限り市民に文化・芸術を届けるよう努めました。

また、本財団は、宇部市渡辺翁記念会館（以下、「記念会館」という。）及び宇部市文化会館（以下、「文化会館」という。）の指定管理者として、両会館の管理運営にも努めてまいりました。

9年目を迎えた本年度は、利用者の視点に立ち、次のことを重点的に取り組みました。

- 1 市策定の「第三次文化振興ビジョン」の施策と連動しながら、組織目標の設定を行ったうえ、業務の計画・執行を図った。
- 2 市民一人ひとりが「文化の鑑賞」「文化の活動」をしていくことができる“まち”、誰もが文化を楽しむことができる“まち”の実現を目指すための人材の育成と、それぞれの実践的な活動の支援を行った。
- 3 文化の持つ社会的な役割を再認識し、コロナ禍における社会課題や社会問題にもアプローチしていくことができる事業を実施した。
- 4 市からの補助金等を活用して行う自主文化事業の実施に際して、指定管理業務の委託（期間2019年度～2023年度）5年間の実施テーマを「人と人 人と文化をつなぐ～会館に集い・出逢いの場に～」に併せ、子どもから高齢者まで、あらゆる世代の市民が、いつでもどこでも文化に触れる機会の創出に努めた。
- 5 両会館の歴史や特性を踏まえ、館内外を有効活用した事業や宣伝を実施するとともに、子ども達や若者が集える環境をつくり賑わいを創出した。  
また、記念会館・文化会館の事業運営・サービス向上を図るシステムを活用し、利用者の利便性をより高めるよう努めた。

## II 事業概要

定款第4条に掲げる6事業について、具体的に以下のとおり実施した。

### 1 文化行事開催事業

2022事業年度は、引き続き宇部市内の文化団体との連携、テレビ局との事業の協力開催を行うことで、市民が多様な文化に触れる機会の創出を心がけた。

事業選定においては、引き続き新たな鑑賞者開発につながるるとともに、過去の来場者をリピーターとして育てていくことのできる事業を選定し実施した。

#### (1) ステージ事業

##### ●自主文化事業

No.	実施日	事業名/会場/入場者数等	事業概要
1	2022年 6/26 (日)	【宇部好楽協会との共同開催】 小林愛美ピアノリサイタル /記念会館/1,266人	「第18回ショパン国際ピアノ・コンクール」第4位入賞の宇部市出身のピアニスト小林愛実の渡辺翁記念会館での6年ぶりの演奏となる市民待望の「凱旋公演」。 コロナ禍での受賞という朗報を共有し、心を癒し、向上させ、会場ホールの音響の素晴らしさを再認識するとともに宇部市出身アーティストへの愛着心へとつながることを目的に開催。
2	2022年 9/24 (土)	【主催：tys テレビ山口】*共催事業 近藤真彦ツアー Masahiko Kondo 2022 Live Tour Fifty-Eight 記念会館/1,345人	1980年代を代表する男性アイドルとして一世風靡した近藤真彦の宇部公演。野村義男も出演。
3	2022年 11/7 (月)	【主催：(公社)日本芸能実演家団体協議会、シンフォニア岩国指定管理者サントリーパブリシティサービスグループ】*共催事業 音楽と巡って見つけて やまぐちの魅力～ピアノと室内楽アンサンブル 記念会館/189人	新型コロナウイルスの影響により、文化芸術活動が元気を失いつつある中、昨年に続き、県内公立文化施設協議会加盟の施設が連携・協働して国内トッププレイヤーによる演奏会を県内8施設で開催。 宇部市渡辺翁記念会館ではピアノと室内楽アンサンブルの演奏を実施。 文化庁「アートキャラバン事業」
4	2022年 11/13 (日)	令和4年度松竹特別巡業 「中村獅童のHow toカブキ」 「『あらしのよるに』一人語り」 /記念会館/418人	様々なジャンルで活躍を見せる歌舞伎俳優中村獅童による「令和4年度 松竹特別巡業」公演。歌舞伎のレクチャーと馴染みのある絵本「あらしのよるに」の語りは、中村獅童自身が「将来歌舞伎に親しみを感じられるような形になれば」と子どもから大人まで多くの来場者にとって優しい公演を作ることを目指して開催。
5	2022年 12/6 (火)	「交響曲UBE 2nd コンサート」 /記念会館/220人 *文化庁「文化芸術振興費補助金事業」	2021年12月、宇部市制施行100周年記念事業として、初披露した「交響曲UBE」の2ndコンサート。

●市受託事業

No	実施日	事業名／事業概要／会場／参加者等／入場者数等
1	9/4（日） 10/2（日） 10/15（土） 11/3（木・祝） 11/12（土） 11/26（土） 12/4（日） 12/11（日）	「宇部市『芸術祭』【舞台部門】 ◆宇部市民音楽祭オーケストラ部門／記念会館／53人／440人 ◆邦楽演奏会／文化会館／82人／216人 ◆合唱部門／記念会館／10団体121人／288人 ◆音楽共和国うべ／記念会館／／42人／696人 ◆劇団宇部芸術座／文化会館／15人／130人 ◆劇団若者座／福社会館／9人／35人 ◆宇部市民音楽祭／文化会館／8団体92人／494人 ◆文連フェスティバル／文化会館／139人／807人
2	12/18（日）	「第九『歓喜の歌』でHAPPY END 2022in 渡辺翁記念会館」 村上寿昭（Cond.） 松岡真絵（Sop.）小野朋子（Mez.）米原真（Ten.）新造太郎（Bar.） 第九「歓喜の歌」でHAPPY END 2022（Cho.） 宇部市民オーケストラ（演奏） ／宇部市民オーケストラ管弦楽（50人）の演奏により、ソリスト4人のステージ（第1部）、ベートーヴェン作曲交響曲第9番「歓喜の歌」を合唱団36人とともに合唱した。 ／記念会館／出演者91人 来場者378人

(2) 展示事業

●市受託事業

No	実施日	事業名／会場／内容等／入場者数
1	9/13（火）  9/16（金）～19（月祝） ※19日は台風のため中止  10/15（土）16（日） 10/21（金）～24（月） 〃 10/29（土）30（日） 11/12（土）13（日） 11/18（金）～20（日） 11/25（金）～27（日）	◆宇部市美術展覧会／文化会館 【審査会（非公開）】 審査員 倉田研治（山口県立大学国際文化学部准教授） 岡本正康（下関市立美術館館長） 若林英樹（シンフォニア岩国館長） *平面部門・立体部門・その他の部門で募集し審査を行った。 【本展】出品者160人206点／594人  ◆華道展／文化会館／出品者83人78作品／721人 ◆木彫篆額展／文化会館／出品者8人50作品／463人 ◆手芸・工芸・染色展／文化会館／出品者178人500作品／1,331人 ◆ばら展／文化会館／出品者10人60作品／400人 ◆ラン展／文化会館／出品者12人64作品／290人 ◆陶芸展／文化会館／出品者79人400作品／558人 ◆東洋蘭展／文化会館／出品者7人98作品／226人

(3) 文芸事業

●市受託事業

No	実施日	事業名／会場／出品者数等／入場者数
	11/27（日）	◆宇部市文芸大会／文化会館／出品者267人396作品／160人

## 2 文化活動支援及び人材育成事業

これからの宇部市の文化芸術を担っていく人材育成を行っている文化活動や文化活動を行う団体を支援するほか、国の重要文化財にもなっている「渡辺翁記念会館」を活用した「記念会館利用促進（活用活性化）PR事業」を実施し、市民により一層の興味・関心を高め郷土愛を育成するとともに、観光やスポーツ等他分野と連携した事業を実施した。

今年度は市からの受託事業「小・中学生箏曲振興事業」は、市内の箏曲活動者と協働し、子どもたちに箏を通じて市の文化資源への関心を喚起するためのワークショップを行うとともに、例年どおり「子ども文化夢教室」を実施し、次代を担う子どもたちが文化芸術を身近に感じ、触れる機会を創出した。また、宇部の新しいアートコミュニティを創造する「うーばー・プロジェクト」は、アートによるコミュニティ活動を行うことができるプレイヤーの育成事業として実施した。

また、次世代を担う世代に良質な文化芸術の鑑賞機会の提供の場を与えたり、多文化共生の取り組みや、社会包摂事業を実施するための人材育成・創造事業に取り組んだ。

### (1) 活動支援事業

#### ●【文化活動支援事業】

No	事業概要
1	<p><b>【市民文化活動助成事業】</b> 記念会館及び文化会館を主として、市内で開催される文化事業で、財団が定める要件を満たす事業を対象に、当該事業を実施する団体に対し、助成金の交付やチケット販売・広報の支援を行った。</p> <p>▶募集説明会…コロナ禍のため申請予定団体へ個別説明を実施。 ▶募集期間…2022年4/25（月）～5/9（月） ▶選考会…コロナ禍のため書面審査を実施 2022年6月 申請団体6団体／採択団体6団体／2団体申請取り下げ</p> <p>① 宇部市民オーケストラ 「宇部市民オーケストラ第24回定期演奏会」2023年3/5（日）実施／50,000円</p> <p>② 子どものためのコンサート事務局 「子どものためのコンサート」2022年11/12（土）実施／30,000円</p> <p>③ 宇部三曲連盟 「第50回邦楽演奏会」2022年10/2（日）実施／50,000円</p> <p>④ 宇部吹奏楽団 「第45回定期演奏会」2023年3/19（日）実施／50,000円</p> <p>◆室内楽の泉（50,000円）「クラシック・サロン&lt;&lt;ひすとりの音楽塾&gt;&gt;」 ⇒ 文化庁補助金採択のため助成額0円</p> <p>◆井上 修志（50,000円）「プールに橋をかける」⇒ 事業取りやめのため採択取り下げ</p>
2	<p><b>【「若手音楽家育成事業」】</b> 市内小・中学生吹奏楽の大会を行っている厚狭地区吹奏楽連盟の「厚狭地区吹奏楽」事業と、弦楽器のジュニアの育成を実施している宇部市民オーケストラ後援会の「宇部ジュニア・アンサンブル」事業へ活動助成した。</p> <p>①厚狭地区吹奏楽連盟 100,000円 「厚狭地区吹奏楽」7/18（月・祝）、12/11（日） ②宇部市民オーケストラ後援会 100,000円 「宇部ジュニア・アンサンブル」通年</p>

●【文化事業協力・広域連携事業】

No	実施日	事業名／支援等
1	適宜	<p>【記念会館利用促進（活用活性化）PR事業】（指定管理事業）</p> <p>◆渡辺翁記念会館活用誘致事業型</p> <p>◇5/3（火祝）「Duo Naru/ヴァイオリン・ピアノ デュオコンサート in 記念会館 2階ロビー」 来場者 177 人</p> <p>◇5/5（木祝）「こすおん@渡辺翁記念会館」（コスプレ撮影会）来場者 57 人</p> <p>◇6/5（日）、6/18（土）「音楽の祭日 in うべ」来場者 160 人</p> <p>◇8/27（土）「真夏の夜の渡辺翁で怪談を読んでもみる。」（朗読会）来場者 20 人</p> <p>◇11/19（土）「宇部ハーモニカコンサート in 記念会館 2階ロビー」来場者 130 人</p> <p>◆参加型「記念会館をもっと知ろう！」</p> <p>①心も体も元気になろう～健康文化事業～</p> <p>◇4/25（月）「藤が咲き誇る松巖園&amp;渡辺翁記念会館見学ツアー」 （スポーツうべたん 2022 春）来場者 20 人</p> <p>◇11/21（月）「紅葉の松巖園&amp;渡辺翁記念会館見学ツアー」 （スポーツうべたん 2022 秋）来場者 30 人</p> <p>②幼稚園・保育園・小学校・中学校単位にて実施</p> <p>◇2/27（月）「渡辺翁記念会館 見学・体験ツアー」（慶進高校 1 年生）来場者数 38 人</p> <p>◇3/8（水）「渡辺翁記念会館 見学・体験ツアー」（慶進高校 1 年生）来場者数 150 人</p> <p>◆体験型事業</p> <p>◇1/9（月・祝）「第 2 回けん玉で元気になろう&amp;見学ツアー」 初心者編 来場者 21 人 経験者編 来場者 43 人</p>

(2) 人材育成事業

●市受託事業【人材・育成事業】

No	事業名／概要
1	<p>「小・中学生箏曲振興事業」</p> <p>これまで開催していた「全国小・中学生箏曲コンクール」が新型コロナウイルスの関係で中止となったが、市からの委託を受けて市内の箏曲活動者を育成するとともに、子どもたちに箏を通じて本市の文化資源への関心を喚起するため、ワークショップ・演奏発表、模範演奏の鑑賞の場を提供するため開催</p> <p>8/5（金）ワークショップ 1 日目 「琴にふれてみよう」「曲を弾いてみよう」</p> <p>8/6（土）ワークショップ 2 日目 「みんなで一緒に演奏しよう」「みんなでステージで演奏してみよう」</p> <p>8/7（日）・ワークショップ参加者の発表演奏 ・模範演奏&amp;体験発表 鹿野竜靖・早瀬大和</p>
2	<p>「子ども文化夢教室」 ／指導者を招聘し、市内 12 小学校において教室を開催した。</p> <p>【表現活動】日本舞踊</p> <p>10/22（土）新川小学校 6 年生 84 人</p> <p>2/21（火）二俣瀬小学校 5・6 年生 14 人</p> <p>講師：花柳流津由次 花柳寛津由次、花柳津々京、花柳緋由詞</p> <p>内容：日本舞踊の一場面を鑑賞。その後、踊りの所作（動作）を習い、自身の身体を用いてグループ毎に悲喜を表現する。また、宇部に伝わる「南蛮音頭」の由来を聞き、日本舞踊家から踊りを教わることで、西洋の踊りとは違う日本古来の身体表現を体感する。</p> <p style="text-align: right;">【次頁に続く】</p>

2	<p><b>【表現活動】ダンス</b>  10/7 (金) 西岐波小学校 4年生 123人  11/25 (金) 厚東小学校 3・4年生 25人  講師：AMZ(アムズ)モダンダンス 礒田智沙恵  内容：ダンスについてのお話を聞くとともに、様々なダンスのステップをダンサーから教わる。  またグループ毎にダンスの一部を創作し、発表するなど普段とは違う身体表現を楽しむ。</p> <p><b>【表現活動】コミュニケーションワークショップ</b>  12/5 (月) 西宇部小学校 6年生 48人  12/6 (火) 原小学校 4年生 46人  講師：Ten seeds(テンシーズ) 黒田百合  seeds of joy (礒田智沙恵 原田多恵子 加藤景子 木下夢 宮崎萌美)  内容：演劇の現場で使われるゲームを楽しむことで、アイコンタクトや相手の言葉や動きを受け入れ、自己有用感や自己肯定感を育むとともに、豊かなコミュニケーション能力を高めていく。</p> <p><b>【文芸】俳句</b>  10/13 (木) 他 恩田小学校 4年生 116人  11/4 (金) 万倉小学校 3・4年生 8人  11/15 (火) 藤山小学校 3年生 86人  11/25 (金) 他 川上小学校 6年生 82人  11/28 (月) 吉部小学校 3～6年生 14人  1/19 (木) 琴芝小学校 3年生 49人  講師：宇部馬酔木会 兼久智和喜 現代俳句協会 堀 節誉  内容：五・七・五の十七音から成る、日本独自の定型詩、俳句。「季語」の意味を考えながらことば遊びしながら、みたこと聞いたこと感じたこと体験したことを一緒に俳句に読んでいく。</p>
3	<p>「宇部アートコミュニティ構築促進事業」(うーばー・プロジェクト)  ／市民の創造的な活動を支援し、誰もが気楽に文化に触れられる機会を創出  する人材を養成する講座を実施／ときわ湖水ホール  ／2022年度アートコミュニケーター数(1期・2期・3期 計59人)  <b>【1期生】</b>33人  <b>【2期生】</b>11人  <b>【3期生】</b>17人</p> <p>／講座関連  7/10 (日) シンポジウム(現地) 登壇者4人 出演うーばー3人  参加者：現地34人 ライブ配信視聴11人 計52人  9/18 (日) オリエンテーション(現地/オンライン) 講師1人 うーばー27人 計28人  11/6 (日) 基礎講座1回(現地/オンライン) 講師1人 うーばー19人 計27人  11/20 (日) 基礎講座2回(現地) 講師1人 うーばー14人 計15人  12/4 (日) 基礎講座3回(現地) 講師1人 うーばー17人 計18人  12/18 (日) 基礎講座4回(現地) 講師1人 うーばー13人 計14人  1/22 (日) 実践講座1月(現地) 講師1人 うーばー13人 計14人  2/12 (日) 実践講座2月(現地) 講師1人 うーばー14人 計15人</p> <p style="text-align: right;"><b>【次頁に続く】</b></p>

No	事業名／概要
3	<p>／レクチャー・自主企画関連（活動回数：約 195 回）</p> <p>■ワークショップ企画 馬場良治氏トーク 4/3（日） 一般参加者定員 12 人 ファシリテーター10 人 プレワークショップ・企画ラボ 8 回 本番 1 回</p> <p>■第 29 回 UBE ビエンナーレ関連イベント（自主企画） 10/23（日） 一般参加者定員 12 人 ファシリテーター13 人、サポーター3 人 準備・企画ラボ・リハーサル 29 回 本番 1 回 連携プロジェクトチーム① 準備・企画ラボ 13 回 連携プロジェクトチーム② 企画ラボ 3 回</p> <p>■第 29 回 UBE ビエンナーレ関連イベント 連携：ふるさとコンパニオンの会 混合企画 ラボ 18 回 本番 2 回 1 回目：10/8（土） 一般参加者 12 人 ファシリテーター11 人 2 回目：11/13（日） 一般参加者 8 人 ファシリテーター10 人 学校連携企画 慶進中学校 10/24（月） 慶進中学校生徒：240 人、ファシリテーター5 人、本番 1 回</p> <p>■第 29 回 UBE ビエンナーレ関連イベント うーばー・プロジェクトブース設置、来場者参加型彫刻コメントボード設置 期間：UBE ビエンナーレ開催期間 設置場所：ときわミュージアムイベントスペース ラボ・準備 8 回、常設 来場者コメントカード枚数：139 枚</p> <p>■実践講座企画 連携：宇部市、山口大学工学部、 若者クリエイティブコンテナ、慶進中学校 WAKUWAKU マーケット 企画・活動：3 グループ 運営 22 人 活動期間：1/22（日）～3/26（日）、プログラム一般来場者：約 550 名 リアル・うーばー専用 WEB・オンラインにてラボ・準備 52 回、本番 1 回</p> <p>■全体ラボ</p> <p>■自主企画 ① 11/22（火）～3/31（金） （実施日：3/21（火・祝）本番雨天中止）ラボ 10 回、7 人 ② 12/7（水）～3/31（金）（継続中）ラボ+フィールドワーク 8 回、7 人 ③ 8/27（土）～3/31（金）（継続中）</p> <p>■島根県アート NPO（美術教育）団体連携 オンライン鑑賞体験会 参加 10 人、本番 1 回</p> <p>■他 各種ラボ、各種勉強会、日常的な専用 WEB 内での活動、制作・作業、取材対応、企画相談、全国アートコミュニティ（ACL）オープンレクチャー、企画参加、フォーラム参加等</p>
4	<p>「宇部市アートパフォーマーバンク」管理運営</p> <p>◆アーティストの紹介・コーディネート</p> <p>◆登録アーティストの活用 FM きらら「アートな時間」において月一回（第 3 火曜日）に登録アーティストの活動を紹介。</p> <p>／パーソナリティ：企画グループ職員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 25 回 4/19（火）矢部敬子（黒板アート）</li> <li>・第 26 回 5/17（火）尾崎良江（ピッコロ・フルート奏者）</li> <li>・第 27 回 6/21（火）池田慎子（茶道家）</li> <li>・第 28 回 7/19（火）堀川玄太（ウォーターアート）</li> </ul> <p style="text-align: right;">【次頁に続く】</p>



No	事業名／概要
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 29 回 8/16 (火) 村山真由美 (チーム無所族)</li> <li>・ 第 30 回 9/20 (火) 宇部華友会 (能楽)</li> <li>・ 第 31 回 10/18 (火) 辻畑 鉄也 (音楽)</li> <li>・ 第 32 回 11/15 (火) 渡邊 輝弘 (ハーモニカ)</li> <li>・ 第 34 回 1/17 (火) 劇団遊覧 (演劇)</li> </ul>

● 【人材育成・創造事業】

No	実施日	事業名／概要／会場／入場者数等
1	2022 年 12/10(土)	<p>【次世代育成】鑑賞・子ども向け 音在月コンサート～加古隆カルテット～ 次代を超えて愛され続ける楽曲の数々を最小の人数でありながら最大限のバランスとアコースティックで美しいサウンドを実現できる、加古が辿り着いた究極のカルテット。 音在月は「交響曲UBE」の完成をきっかけに「交響曲のあるまち」のブランド化のため、12月を「音楽の流れる月」にするというコンセプトの中「宇部のまちに音楽が集い、音楽によって人々が集う月」ということでの音在月と名付けた。 ／記念会館／352人</p>
2	2023 年 3/12 (日) ～3/19 (日)	<p>【アートマネージャー養成講座】 人と人・人と文化・人と地域をつなぐアートマネジメントを実践していくことのできる人材を養成するため開催 ① 【A 講座】「ワークショップリーダー養成講座」 座学「コミュニケーションワークショップとは」 実技「学校教材を用いたワークショップ」等 講師：黒田百合 (Ten Seeds 代表) 日程：座学 2023 年 3/12 (日) 実技 2023 年 3/18 (土) 参加人数：20 人 ② 【B 講座】「市民講座」 「With コロナ時代、社会課題への文化芸術の果たす役割」 基調講演・コーディネーター：衛紀生 パネラー：黒田百合・坂崎裕二 日程：2023 年 3/19 (日) 参加人数：20 人</p>
3	1 回目 2022 年 7 月～8 月  2 回目 2023 年 3 月～	<p>【多文化共生イベント実施事業】「あしながおじさん事業」 2022 年度は「感動発信～観る・聴く・出逢う・育む～」をテーマに、市民が多文化に触れる機会を創出することを目的に開催。英訳したチラシを、市内の在留外国人に配布。 1 回目：夏休み『子ども課外クラブ』／21 人 2 回目：春休み『子ども課外クラブ』／27 人 1 回目に 2 人の在留外国人の小学生が参加</p>
4	2023 年 ① 1/18(水) ② 2/12(日) ③ 3/1 (水)	<p>【次世代育成】古典芸能 「新川寄席」①桂宮治独演会 ②柳家喬太郎独演会 ③春風亭一之輔独演会 大衆芸能ではあるものの、文化に触れるきっかけとなりやすい伝統的な話芸であり、根強いファンの多い「落語」を中心とした古典芸能の公演。 ／①桂宮治独演会／文化会館／378 人 ／②柳家喬太郎独演会／文化会館／428 人 ／③春風亭一之輔独演会／文化会館／476 人</p>

No	実施日	事業名／概要／会場／入場者数等
5	2022年 8/31(水)	<p>【アートパフォーマンスバンク Presents フィジカルディスタンス公演】 「思いやりの時間～心はすぐそばに～」</p> <p>2020年度より新型コロナウイルス感染症という未曾有の事態への不安を文化芸術で癒すことを目的に、安全対策をとった上で開催してきた公演。</p> <p>2022年度は、開館85周年を迎えた渡辺翁記念会館に想いをはせ、渡邊祐策翁と記念会館にまつわるお話を交えて心癒される楽しい夜のコンサートを開催。</p> <p>／記念会館／227人</p>
6	2023年 3/22(水)	<p>【アーティスト・イン・レジデンス関連事業】</p> <p>2023年3月21日実施の「邦楽の調べ～千年花によせて～」(主催:有限会社たましげ)に出演の邦楽演奏家小田誠氏にて、桃山中学校一年生対象に、演奏鑑賞の提供、一般公募でワークショップを実施。</p> <p>ワークショップ受講者／9人 鑑賞者／113人</p>

## ②財団職員に対して

職員の資質及び専門性の向上を目的に、全国公立文化施設協会等が主催する研修会等へ参加し、職員各自がそれぞれ資質の向上・レベルアップに努め研鑽を積んだ。

職員が担当する自主文化事業のチケットシステムを活用してチケット管理、来場者への接客対応、プロモーターとの連絡調整・交渉能力、指定管理者としての管理方法・運営方法等をOJT(オン・ザ・ジョブ・トレーニング)にて人材育成に努めた。

また、引き続き来館者、職員の安全第一を考え、各職員の危機管理能力を高められるよう避難訓練・防火訓練を年2回実施した。

### 《研修・会議等一覧》

No	研修名／主催	日時／会場／内容／参加者
1	(公社) 全国 公立文化施設協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶2022年度施設賠償保険(宇部市渡辺翁記念会館・文化会館) 継続加</li> <li>▶2022年度定時総会・研修大会(山形大会) 6/9(木)～10(金) 当財団は欠席</li> <li>▶全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会オンライン受講 2/28(火)まで/2名</li> </ul>
2	山口県 公立文化施設協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶加入施設名簿作成(渡辺翁記念会館)(令和3年5月末現在)</li> <li>▶令和4年度第1回定例会 日時:/2022年6/16(木) 2名参加 内容: 令和3年度事業報告決算、令和4年度事業計画収支予算、意見交換等</li> </ul>
3	宇部・山陽小野田 地区企業人権教育 連絡協議会	<p>会場: 宇部市文化会館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶令和4年度人権学習セミナー</li> <li>① 8/9(火)「障害のある人となない人が共に生きる社会づくり」 講師: 宇部フロンティア大学短期大学部教授 参加者: 白石</li> <li>② 8/24(水)「デジタル改革で豊かさ幸せを実感できる社会の実現を目指して」 講師: 山口県デジタル政策課職員 4名参加</li> <li>③ 9/8(木)「家庭からふりかえる人権」 講師: 人権教育課職員 2名参加</li> <li>▶令和4年度人権を考える集い 会場: 宇部市文化会館</li> <li>① 8/18(木)「同和問題をはじめとするさまざまな人権問題について」 講師: 山口地方法務局 2名参加</li> </ul>

【次頁に続く】

No	研修名／主催	日時／会場／内容／参加者
3	宇部・山陽小野田 地区企業人権教育 連絡協議会	▶令和4年度研修会 オンライン形式 2/9(木) テーマ「ハラスメント」 講師：人権教育課職員 1名参加
4	記念会館・文化会館 消防訓練	火災発生時における被害防止のため、記念会館・文化会館消防計画による総合訓練の実施と、防災教育を行った。 ▶9/20(火)／記念会館・文化会館／全職員 ／記念会館から出火が発生した想定で、非常放送、避難訓練、消防署通報、初期消火等の総合訓練。 終了後、屋内消火栓の取り扱い(防火教育) ▶2/21(火)／記念会館・文化会館／全職員 ／文化会館で出火が発生した想定で、非常放送、避難訓練、消防署通報、初期消火等の総合訓練。

### 3 意識啓発及び情報発信事業

#### (1) 意識啓発事業

##### ●「財団友の会」

財団友の会の方の利便性を高め、よりチケット購入しやすい環境整備として、2018年度末に導入した「宇部市文化創造財団チケットサービス」(以下、「チケットサービス」という。)において、インターネットからのチケット購入について、手順等の問い合わせも画面を共有し案内するなど細やかな対応を行った。

また先行予約についても、[従来の電話受付→来館しての会館窓口販売]だけでなく、チケットサービスにおいて、ネット上でリアルタイムに残席確認ができ、[WEB上からの先行予約→会館窓口購入・受取]、スマートフォンなどで受取ができる電子チケットの普及等、利便性を高めサービス向上に努めた。

##### ●「財団市民サポーター」

今年度も、コロナ禍のため財団市民サポーターの活動も自粛せざるをえなかった。次年度以降は、こういう時期だからこそ、財団の支援者である市民サポーターの方々に各自で動いていただける広報(イベントのロコミ)に動いていただく等検討し、安心・安全な活動ができ、文化・芸術を通じて自己実現できる環境整備を行っていききたい。

各年度 3月末日現在	財団友の会 会員数		財団市民サポーター 登録者数
	個人会員	法人会員	
2022 事業年度	489人	40団体	58人
2021 事業年度	486人	21団体	58人
2020 事業年度	461人	40団体	55人
2019 事業年度	456人	44団体	53人

## (2) 情報発信事業

- プレスリリースの実施等、新聞、無料情報誌等のパブリシティ（無料掲載広告）での情報掲載いただけるよう努めた。  
有料広告は、自主文化事業それぞれのターゲットや公演の特色を念頭におきながら、より効果的なチケット販売につながるよう実施した。今後もチケット購入者には情報を得た媒体確認をする等、公演に応じた情報発信ツールの分析を実施していきたい。
- より迅速な情報発信を心がけ、財団ホームページへの情報更新・掲載、フェイスブックの活用等、事業の性格に合ったメディアミックスでの情報発信に努めた。
- 機関誌「イベントガイド」広報＝パブリック・リレーション（PR＝PublicRelation）は、一方的でなく双方向の関係性を築き、市民の鑑賞行動につながる内容掲載と誌面作りに努めた。この「イベントガイド」は点訳版を作成し、視覚障がいを持った方に対する合理的配慮に努めた。  
また、財団ホームページについても、高齢者から子どもまで誰でも分かり易い表記に努め、財団の事業だけでなく、記念会館・文化会館等で実施されるイベントをタイムリーに情報提供した。他の組織の機関誌等への掲載など文化関連組織等と連携して、効率の良い情報発信を進めた。

## 4 調査研究及び資料収集事業

### (1) 調査研究事業

- 外部資金の調達のため、助成金等の情報を収集し文化団体等に提供した。
- 県内・県外の他財団や県内外のプロモーターとの情報交換（新型コロナウイルス感染症の対策や開館状況等）を引き続き行い、文化事業の実施や会館の管理運営・貸館業務に活かせるよう調査研究を行った。
- 文化事業の際に実施していた鑑賞者アンケートは、コロナ禍のためWEBアンケートに切り替えて実施した。紙ベースのアンケート比べて回答率が低いのが現状である。次の事業計画に活かすとともに、広報宣伝、鑑賞者開発に努めるため、今後はコロナの状況も鑑みながら、紙ベース・WEBアンケートの併用を検討する。

### (2) 資料収集事業

- 文化庁をはじめとした国の機関、全国公立文化施設協会や山口県公立文化施設協議会等助成金支援を実施している団体等から補助事業や研修事業などの情報をこまめに収集し、財団運営の財源補完や、市民及び文化活動者への支援や情報提供につなげた。  
また、県内外の他財団をはじめ、全国の文化関係の組織とも連絡・連携を密にし、文化事業に関する有用な情報を収集し、他都市との連携イベントの開催や有用な文化事業の開催につなげた。

## 5 施設管理運営事業 【指定管理事業】

渡辺翁記念会館及び文化会館の指定管理者として施設管理運営に当たり、次の事項について重点的に取り組んだ。

### ●維持管理業務

#### ①【重要文化財・記念会館の保存と活用】

国指定重要文化財である記念会館は、一部改正された文化財保護法に基づき、適切な保存と効果的な活用を念頭に置いた管理運営を行った。

#### ②【安全・安心な適切な管理】

利用者が安全な環境の中で安心して快適に施設を利用できるよう、利用者への案内や警備員による巡回等の通常の管理に加え、コロナ禍の中、館内の各所に手指消毒液の設置の他、手すりやドアノブ等の接触箇所の定期的な消毒等、感染症対策を徹底した。職員により一層の危機管理体制の充実や安全衛生活動の周知徹底に努めた。

#### ③【利用者への適切な使用法のご案内】

特に記念会館では破損などが生じた場合に原状回復ができない部分もあり、その点を含め、利用者の方には施設使用のマナーを深くご理解いただき、例えば机・椅子等を動かす時には引きずらないなど、両会館の適切な使用法をご案内し、保存に努めた。

#### ④【職員の安全衛生・危機管理意識の徹底】

年2回の消防訓練等で訓練を重ねるとともに、危機管理マニュアルやAED機器等を事務所内の入口に設置し、職員に周知徹底し、いざという時に職員が対応できるよう準備した。

#### ⑤【効率的で経済的な維持管理と適切な保守点検の実施】

施設の老朽化に伴い、今後益々適切な維持管理が必要となるため、業者による定期的な保守点検だけでなく、職員による日常点検を実施し、効率的で経済的な適切な維持管理を模索・計画し、管理経費の節減を図った。

#### ⑥【環境への配慮】

節電、節水、省エネルギー等に努めるとともに、廃棄物発生を可能な限り抑制し、環境負荷に配慮した。

#### ⑦【設置者や地域社会との連携】

市（設置者）との連携を密にし、施設の現状や課題など必要な情報を共有するため、適切な報告や資料提出を行った。また、水道管修理や街灯の交換など、地域社会や関係団体などと連携しつつ対処した。

#### ⑧【設備・備品の適切な管理】

施設や備品の使用及び保管は、市の基準に準じた備品台帳により適正に行った。なお備品の修理・交換が必要な場合はその都度、市（設置者）と協議を行った。

### ●運営業務

#### ①【公正で公平な利用の確保と適正で平等なサービスの提供】

施設の設置目的との整合性を図りながら、平等で公平な利用の確保に努めることで、利用者が安心して平等な利用ができるよう努めた。

#### ②【安全で快適な環境づくりの向上】

主催者向けの wi-fi や配信用インターネット環境の整備等、利用者の需要に応じたサービスの維持、向上に努めた。

③【コストの削減】

外部委託業者への複数年契約の導入、記念会館と文化会館の施設協働契約等を行うことによりコスト削減を図った。また職員の経費削減の取組はもとより、利用者の方々にも冷暖房温度の設定、水の節約等省エネルギーや環境への配慮と協力をお願いした。

④【職員の実績を活かしたアドバイスと技術支援】

会館利用者の方や、文化活動の発表者などをサポートするために、職員の専門性を活かした施設利用に対する適切なアドバイスを積極的に行った。また、需要が急増したインターネット回線を使った会議や動画配信についても、ソフト・ハード面ともに対応できるように努めた。

⑤【法令遵守（コンプライアンス）を徹底した管理運営】

施設管理に関する消防法等の諸法令や個人情報等の適切な管理、労働基準法などの職員の労働環境の整備に関する法令など、全ての法令等を遵守し、コンプライアンスを徹底した運営業務を行った。

⑥【利用者の声を活かした運営】

財団職員はサービス業であることを念頭に、接客の際は、利用者の立場に立ち、何を望んでいるかを的確に把握し、快適に利用いただけるよう迅速かつ柔軟な対応に心掛けた。来場者アンケートや宇部市のモニタリング調査の結果を真摯に受け止め、改善すべき点は改善に努めた。

●来場者・公演回数等

各年度 3月末日現在	記念会館・文化会館 延べ来場者数（人）		記念会館 公演等回数（回）		文化ホール 公演等回数（回）	
	実績	目標	実績	目標	実績	目標
2022年度実績	102,186	170,000	104	110	91	115
2021年度実績	74,620	167,000	71	108	81	113
2020年度実績	42,799	164,000	39	106	35	111
2019年度実績	144,808	161,000	107	104	91	109
30年度実績	174,380	158,000	117	102	95	107
29年度実績	156,009	161,000	116	100	98	105
28年度実績	123,316	158,000	109		81	
27年度実績	153,896	155,000	98		102	

## ●利用率・利用人員

会場名		2022年度	2021年度
渡辺翁記念会館	利用率	43.3%	39.9%
	利用人員	32,633人	25,025人

会場名		2022年度	2021年度
宇部市文化会館			
文化ホール	利用率	36.2%	41.4%
	利用人員	14,723人	9,521人
研修ホール	利用率	42.9%	39.3%
	利用人員	7,965人	5,507人
第一研修室	利用率	55.9%	57.1%
	利用人員	4,188人	3,401人
第二研修室	利用率	65.7%	59.5%
	利用人員	3,025人	2,551人
第三研修室	利用率	63.1%	60.4%
	利用人員	1,417人	1,093人
和室	利用率	19.0%	12.6%
	利用人員	488人	222人
楽屋	利用率	13.0%	14.1%
	利用人員	366人	759人
第一展示室	利用率	53.0%	42.0%
	利用人員	7,631人	3,362人
第二展示室	利用率	47.8%	40.5%
	利用人員	17,114人	12,787人
第三展示室	利用率	43.2%	42.9%
	利用人員	12,636人	10,392人
小計	利用人員	69,553人	49,595人
2館総合計	利用人員	102,186人	74,620人

※利用率＝利用日数／利用可能日

※利用可能日

記念会館……………312日

文化ホール……………318日

文化ホール以外…347日

## 6 その他事業

### ①【会館ICT化推進事業】

市の重点プロジェクトである「ICT・地域イノベーション推進プロジェクト」と連携し、ICT・IOTを活用し、w i - f i 環境の整備、屋外のデジタルサイネージの設置・運用、チケット販売システムの運用を引き続き行った。文化会館においては、研修室・展示室において、利用者がインターネットを使用でき、ホールからのインターネット配信、講師等のインターネットを通じての参加、Zoomでのワークショップの実施など、利便性を高めることができた。

施設利用申請について、コロナ禍のため利用者の来館を軽減し、また利便性を高めるため、パソコン・スマートフォンからWeb申請できる「施設許可Web申請システム」の継続的な運用を行った。

No	実施日	事業名／事業概要
1	通年	<p>会館 I C T 化連携事業            ／2020 年度までに導入した、チケット販売管理システムや館内 wi-fi 等を引き続き運用するとともに、2021 年度に導入完了した貸館予約を行うための Web 申請システム、Google ストリートビューの継続運用を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶屋外デジタルサイネージの運用（自主文化事業等の情報発信）</li> <li>▶自主文化事業チケットの Web チケットサービス（インターネット上でのチケット予約、電子チケットの導入）</li> <li>▶両会館のインターネットを利用しての配信環境の提供（自主公演の模様、利用者の講座講師の遠隔参加）</li> <li>▶施設許可 Web システム（利用者への普及啓発）</li> <li>▶両会館施設内の Google ストリートビュー（文化会館の会議室、記念会館の客席から舞台の見え方等）</li> </ul>

②【利用促進に努める運営と情報発信】

様々な媒体による広報活動や機会を捉えた営業活動を行い、施設の利用促進を図った。また、プレイガイドとして様々なコンサートやイベントのチケットを取り扱い、文化や地域の情報を、利用者や地域住民に向けて情報発信を行った。



### Ⅲ 庶務事項

#### 1 組織

(令和5年3月末日現在)

##### (1) 評議員

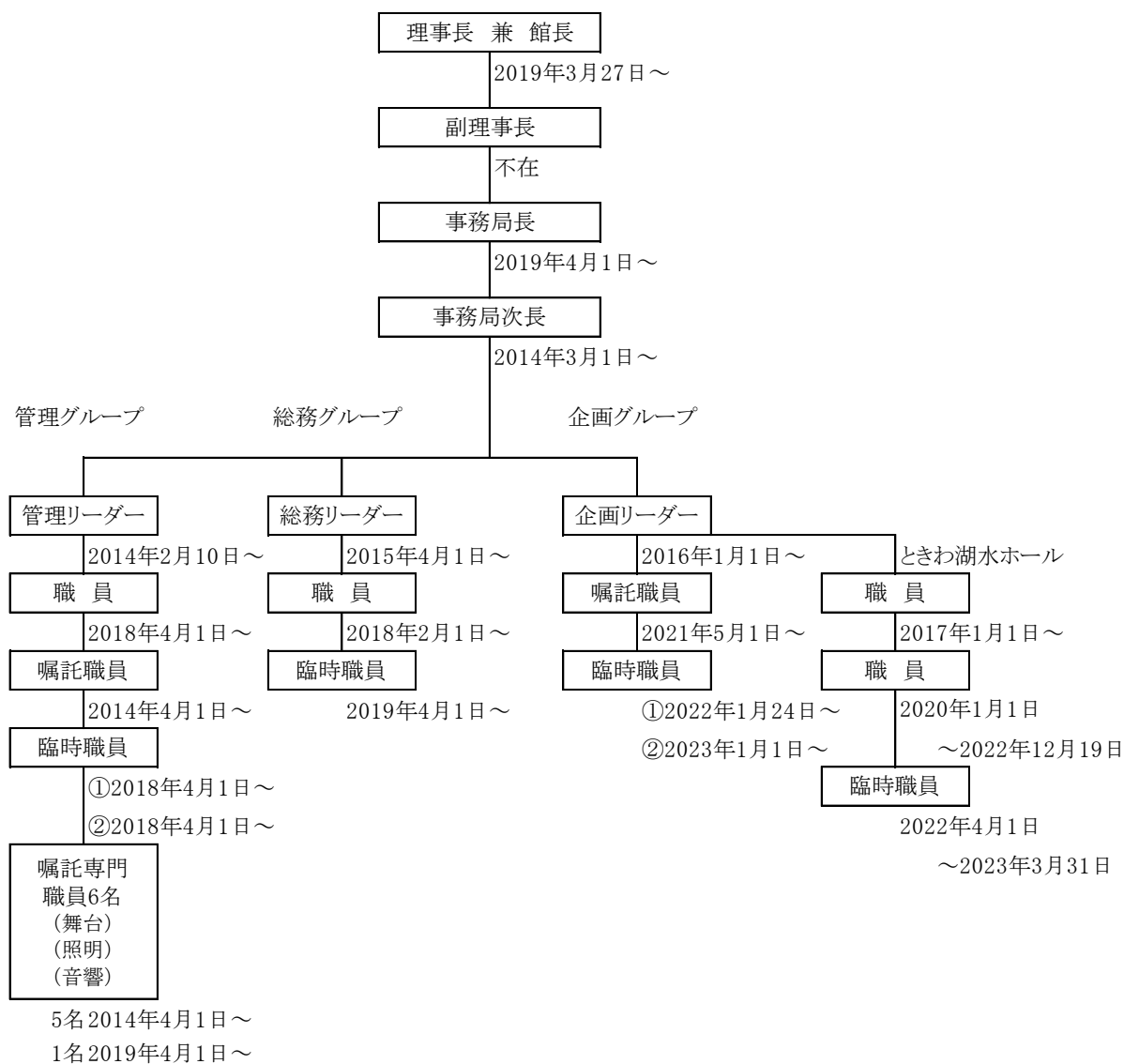
役職	氏名	就任	所属等
評議員	二木 寛夫	令和3年6月24日	学校法人宇部学園理事長
評議員	福田 隆眞	令和3年6月24日	山口大学名誉教授 (宇部市文化振興まちづくり審議会会長)
評議員	井原 毅	令和3年6月24日	UBE株式会社 宇部渉外部長
評議員	脇 和也	令和3年6月24日	株式会社宇部日報社 代表取締役社長
評議員	野口 政吾	令和3年6月24日	宇部市教育長

##### (2) 理事・監事

役職	氏名	就任	所属等
理事長	福本 陽平	令和3年6月24日	医療法人社団宇部興産中央病院顧問・名誉病院長
理事	宮崎 毅	令和3年6月24日	長唄・長栄会
理事	馬場 良治	令和3年6月24日	日本画家
理事	渡邊 裕志	令和3年6月24日	公益財団法人渡辺翁記念文化協会理事
理事	渡邊 祐二	令和3年6月24日	宇部商工会議所元専務理事
理事	下郡 ひづる	令和3年6月24日	特定非営利活動法人うべ子ども21理事長
理事	藤井 茉莉	令和3年6月24日	宇部青年会議所元理事長
理事	富田 尚彦	令和4年4月15日	宇部市観光スポーツ文化部長
理事	白砂 祐子	令和3年6月24日	華道教授
理事	石田 雅司	令和3年6月24日	宇部市合唱協会会長
理事	谷口 奈津江	令和3年6月24日	宇部三曲連盟理事
理事	吉村 一美	令和3年6月24日	ワールド・プレス フラワー協会運営理事
監事	中嶋 羊治	令和4年4月15日	株式会社山口銀行宇部支店長
監事	片岡 謙蔵	令和4年8月4日	西中国信用金庫宇部支店長

1 管理運営の体制

2022年度 組織体制



## 2 寄附 5万円以上の寄附については、下記のとおりである

No	寄附日	寄附者（敬称略）	内容	摘要
1	11/24（木）	株式会社ノア 代表取締役 矢原 健吾	100,000 円	財団事業に 資するため
2	11/25（金）	福永商事株式会社 代表取締役社長 福永洋文	100,000 円	財団事業に 資するため
3	12/12（月）	株式会社ウベモク 代表取締役 中尾 泰樹	100,000 円	財団事業に 資するため
4	2023 年 2/22（水）	UBE 株式会社 代表取締役社長 泉原雅人	150,000 円	財団事業に 資するため
5	5/6（金） 2023 年 1/17（火）	村田 淑子	150,000 円	私のあしなが おじさん
合 計			600,000 円	

## 3 会議の開催

### (1) 理事会

No	開催日	会議名／場所	議案
1	4/1 （金）	第1回臨時理事会 決議の省略の方法による	①理事候補者の選考について ②監事候補者の選考について ③事務局長の任命の承認について ④2022 事業年度 第1回臨時評議員会について
2	6/10 （金）	第1回通常理事会	①2021 事業年度の事業報告について ②2021 事業年度の収支決算について ③定款の変更について ④規程類の改正について ⑤2022 事業年度 第1回定時評議員会の開催について
3	7/29 （金）	第2回臨時理事会 決議の省略の方法による	①監事候補者の選考について ②2022 事業年度 第2回臨時評議員会について
4	2023 年 2/6 （月）	第2回通常理事会	①公益財団法人の認定申請について ②2023 事業年度の事業計画について ③2023 事業年度の収支予算について ④定款変更案及び規程等の一部改正について ⑤公益認定に伴う規程等に含まれる法人名称中の「一般財団法人」の文字の「公益財団法人」への一斉変更について ⑥2022 事業年度第3回臨時評議員会の開催について

(2) 評議員会

No	開催日	会議名/場所	議案
1	4/15 (金)	第1回臨時評議員会 決議の省略の方法による	①理事の選任について ②監事の選任について
2	6/27 (月)	第1回定時評議員会	①2021事業年度の事業報告について ②2021事業年度の収支決算について ③定款の変更について
3	8/4 (木)	第2回臨時評議員会 決議の省略の方法による	①監事の選任について
4	2023年 2/24 (金)	第3回臨時評議員会	①公益財団法人の認定申請について ②2023事業年度の事業計画について ③2023事業年度の収支予算について ④定款変更及び規程等の一部改正について ⑤公益認定申請に伴う規程等に含まれる法人名称中の「一般財団法人」の文字の「公益財団法人」への一斉変更について